

# 衆議院法務委員会ニュース

平成 25.11.20 第 185 回国会第 9 号

11 月 20 日（水）、第 9 回の委員会が開かれました。

## 1 民法の一部を改正する法律案（内閣提出第 20 号）

- ・原案及び修正案について、谷垣法務大臣、奥野法務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・修正案について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。  
（賛成一民主、公明、みんな 反対一自民、維新、鈴木貴子君（無）、西村眞悟君（無））
- ・原案について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、鈴木貴子君（無） 反対一西村眞悟君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

### 郡 和 子君（民主）

- ・最高裁判決及び決定の補足意見又は反対意見において、立法府における民法改正が望まれていたにもかかわらず、今まで改正しなかったことについて、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・本法律案において戸籍法の改正を見送った理由について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・望まない出産をした中学生・高校生等のローテーションが、その子どもの特別養子縁組後に、親の戸籍に戻ることを可能とすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ・平成 8 年の法制審議会の「民法の一部を改正する法律案要綱」において示された選択的夫婦別氏制度、女性の再婚禁止期間の見直し及び婚姻年齢の男女平等について、慎重姿勢を取る理由を法務大臣に伺いたい。

### 西 田 讓君（維新）

- ・平成 7 年に合憲と判断した法律を今回の最高裁判決が社会情勢の変化等を理由に違憲と判断したことについて、違憲立法審査権の趣旨から考えて違和感があるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・婚外子差別規定に関する国際機関からの勧告に対して、我が国がどのような対応をしてきたのか、伺いたい。
- ・日本の伝統的な家族観及び法律婚を守っていく必要があると考えるが、法務大臣及び法務副大臣の見解を伺いたい。

### 林 原 由 佳君（維新）

- ・本法律案が今国会において成立した場合、公布日はいつ頃になるのか伺いたい。
- ・本法律案は平成 25 年 9 月 5 日以後に開始した相続に適用することとされているが、同日以後の相続であって、本法律案の公布前に起こされた裁判についてはどのように対応するのか、伺いたい。

- ・少年院に入院している少年の保護者の状況について、実母のみのひとり親家庭の割合を伺いたい。
- ・少年非行を事前に防ぐため、他省庁との連携や総合的・抜本的な観点による対策が必要と考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

### 椎 名 毅君（みんな）

- ・民法第 900 条第 4 号ただし書の規定の合憲性を争う過去の裁判の中で、立法による解決が望ましいとの言及が多数されてきたにもかかわらず、今回ようやく法改正をすることになったことと関連して、立法不作為の違法性及び違憲性について、伺いたい。
- ・平成 25 年 9 月 4 日最高裁判所大法廷決定の中で、本決定でなされた違憲判断が、既に行われた遺産分割等の効力に影響を及ぼすものではないとされたことに関して、先例としての事実上の拘束性を限定したことに対する憲法上の意義について、伺いたい。
- ・平成 25 年 9 月 26 日の最高裁判所の判決において出生届に嫡出子又は嫡出でない子の別を記載することを届出人に義務付けることが、市町村長の事務処理上不可欠の要請とまではいえないとの判断がなされたが、事務処理上不可欠の要請とまではいえないという意味について、伺いたい。